

# 花田っ子きらきら通信

姫路市立花田小学校  
文責 校長 内海 行之

## ネット社会を明るく、健康に生き抜くために

前号は3、4年生が、ネットトラブルに巻き込まれないための注意点について、外部講師を招いて親子で学習したことや、学習したことをキャッチコピーで表現したことをお伝えしました。今号は、児童の日記の中からネットトラブル講座についての感想を紹介します。

・カメラで自分の顔や部屋の中を見られていると思ったら、こわくなったので、私はスマホじゃなくて電話だけのやつを買って、部屋中が見られないようにしたいです。また、会いに行ったら終わりという事もおぼえたいです。ゲームなどでお金をつかったりしてもいいけど、つきかさねないように気をつけようと思いました。すごいお金は自分でははらえないので、お母さんやお父さんに相談してから買ったり、使ったりしようと思いました。

・私はまだスマホとかタブレットは持っていないけど、たまにお母さんのスマホを使う時、ゲームをしたりするので、そこでネット中毒にならないように気を付けようと思いました。あと、おじいちゃん家ではパソコンをするので、そこを気を付けようと思いました。もし、ネット中毒になったら、お母さんや先生に早く言おうと思いました。

・今日ぼくは、ネットトラブルについての勉強をしました。ネットトラブルは写真を世界に送ったり、いじわるな言葉を送ったりする、危険なものだと知りました。大人になって携帯を持つときは、使い方を知ってから使いたいです。

・私は今日、ネットトラブルについて勉強しました。スマートホンはパソコンの小さい番だから、病気になるかもしれない、初めて聞きました。パソコンやスマートホンなどは便利、3DSや、スマホでの無料でできるゲームは、楽しく、いいものです。しかし、一つまちがえたら、病気になることがわかったので、安全に気を付けて使用したいなと思いました。

先日、某テレビ局の情報番組でやっていました。中国では多くの国民がスマホで買い物をしているそうです。中には自己の生活支援の寄付金を募っている人もいるそうです。これらも今のネット社会を反映しての現象ですね。日本国内でも既に行われているところがあると聞いていますが、日本ではまだまだのようです。

しかし、今の子供たちが社会に出るころには、今の中国と同様になっていることが予想されます。スマホを財布代わりに使うという便利さに飛びついたがために、大きな痛手をこうむってしまった。このような目に将来合うことのないよう、ネット社会の便利さと危うさの両面を今からしっかり学んでほしいと思います。

## 最近の校外学習・体験学習から

直接体験に勝るものはありません。直接見て、触れて、聞いて、動かしてみ、感じたこと、思ったこと、考えたことを、子供たちには大事にしてほしいと願います。



2年：地域のお店探検



4年：姫路東消防署見学



6年：車椅子バスケット体験